暗所視支援メガネを開発

市立病院・新棟の基本設計

業者選定は慎重に行われたのか？

【暗所視支援メガネを障がい福祉サービスの「日常生活用具」指定へ前進】

会を提案するなど、視覚障がいのある方の声を听くことが
基本設計が公募型プロポーザル
（業者からの提案方式）で、過去の体験を踏まえて
前回は設計業者と市が訴訟に
試行して選定することが必要でした。
しかし、3社のプレゼンは各社に
異分で、質疑応答が15分。すぐに採
查し決定することができた。
その暗所で仕事をできないと
の通路が大変、困っている人がい
ます。

【暗くなくとも見えにくくなる方を対策】

市が障がい者の「日常生活用具」に
指定するため、国や自治体の補助で無料・
低価格で使うことが可能
です。すでに道
では札幌市などで指定対象です。
こうした情報は事前に障がい福祉課
にも伝える、委員会で質問しました。
担当課長は、町の姿勢で先進地を調べ
なり、関係者からも意見を聞くなど、
「研究しました」と答えました。

【配信中】

【キャリーオーバー】

村上直子は鉄道高架について、①費
用対効果で問題が多い、②高架に
いても民間業者施設などの進出が見通
せない、③防災という面から鉄道高架
はなく、中心市街地の高いビルへの避
難を徹底すべきと反対しています。

また、チャットでも「鉄道高架と北
広域の賑わい創出は別」「鉄道高架に
は反対」という意見が多く寄せられ
たように思います。

【研究】

村上かずしげ通信

2021年7月18日
発行 共産党市議団23-3212